

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第6節 血液確保対策と適正使用

とりまとめ担当課：保健福祉局生活衛生部薬務課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 献血者の確保	
→	県、市町村及び県赤十字血液センター等が取組むべき献血推進施策を示した「平成 29 年度神奈川県献血推進計画」を策定した。
→	小中学生を対象とした献血疑似体験イベント「キッズ献血」や「中学生献血セミナー」等を県赤十字血液センターと共催し、若年層に対し啓発を図った。
→	「愛の血液助け合い運動」「はたちの献血」の全国キャンペーンや、県独自の春と秋のキャンペーンを通じて、献血に対する正しい知識と情報提供を行った。
(2) 血液製剤の適正使用	
→	国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	
(1)	県	献血者数実績及び目標達成率	人	301,114 (96.8%)	296,828 (95.1%)	297,871 (95.0%)	301,032 (98.5%)	県赤十字血液センター
(1)	県	献血量実績及び目標達成率	リットル	121,419 (94.6)	108,047 (84.7%)	120,669 (95.4%)	122,901 (101.4%)	県赤十字血液センター

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 献血者の確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	「平成 28 年度神奈川県献血推進計画」に基づき、県、市町村及び県赤十字血液センター等事業を実施した。
評価理由	献血者数については目標の 98.5%、献血量については目標の 101.4%を確保し、目的を達成するなど、課題解決に向けて、比較的順調に進捗している。

今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	これまでと同様に、毎年神奈川県献血推進計画を策定するとともに、「キッズ献血」等のイベントや各種キャンペーンを通じて啓発を図る。
次期計画に向けた取組の方向性	献血者数が少ない若年層の献血意識の向上を図るため、キッズ献血等のイベントや広報による啓発を実施する。

(2) 血液製剤の適正使用

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	神奈川県合同輸血療法委員会を1回開催し、本県の輸血療法の現状、輸血に関する話題等を提供するとともに、医療機関での適正使用を推進した。
評価理由	計画どおり、国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	これまでと同様、国が進める血液製剤の適正使用にかかる事業に協力するとともに、神奈川県合同輸血療法委員会などを通じて、医療機関での適正使用を推進していく。
次期計画に向けた取組の方向性	引続き、神奈川県合同輸血療法委員会を開催することにより医療機関との連携を図り、血液製剤の適正使用を推進する。

4 総合評価

評価	評価理由
B	血液確保対策と適正使用については、神奈川県血液センターと緊密な連絡を取りながら、いずれの課題についても課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--